

特別講演「世界の金融事情とこれからの日本」蟹瀬誠一氏(国際ジャーナリスト)



1950年生まれ、津幡町出身。上智大学新聞学科卒。海外通信社勤務を経てフリージャーナリストとして独立。TBS「報道特集」キャスターなどを歴任。現在、明治大学国際日本学部長、アコーディア・ゴルフ取締役を務め、講演活動や執筆業でも活躍

目先の損得で TPP判断するな

賛成派は日本製品を海外市場に売り込む絶好の追い風になると主張している。しかし、TPPへの参加、不参加は目先の損得勘定で判断してはならないと思えます。さまざまな分野でグローバル化が進む中、世界経済の原則は「自由」です。しかし、日本はこの潮流とは逆で、「規制」の原則をずっと守り続けてきました。このため、現在、中国を中心に目覚ましい発展を遂げるアジアの成長路線にも乗り損ない、バブル崩壊後、実に20年にわたる不況に苦しんでいます。TPPは貿易の観点からだけで

なく、最大の同盟国であるアメリカとの関係性とセットでとらえることも重要です。一例として、仕事で最近訪れたフィリピンの現状を紹介いたします。マニラの空港も道路も大学も、私が留学した約30年前とほぼ同じで、経済が長期間、停滞していることを物語っています。これは、フィリピンからアメリカ軍が撤退し、アメリカの厚い支援を失ったことが大きな原因です。

人口増大で成長持続

TPPは世界の貿易地図を塗り替えるほどの可能性を秘めています。参加国は国際競争力が高まり、国内にも新たな産業や雇用が生まれ活力が吹き込まれることは間違いありません。金融に目をやると、ギリシャや債の暴落がヨーロッパ各国の信用不安を招き、アメリカも9%という失業率で高止まっています。この影響を受けて、日本の円が買い進まれ円高となつていますが、緊急避難的な現象で、来年2、3月には修正がありそうです。

一方、世界の人口は70億人を突破し、今後ますます消費の拡大に拍車がかかります。世界経済は不況の波があつても、中長期的には確かな成長カーブを描いていきます。ですから、投資環境を悲観して見るのは近視眼的に過ぎます。それと、大切な資産を運用する前に、まず自分のライフスタイルを見定め、その生活のために今後、お金がいくら必要になるかの概算を出しましょう。こうすれば、むやみに老後に不安を抱かないで済み、より豊かな人生を送ることができると思っています。

投信フォーラム2011 in 金沢 資産運用は時間を味方につけましょう

「投信フォーラム2011 in 金沢」資産運用は時間をつまみしょう」は11月12日、金沢市の北國新聞赤羽ホールで約300人が参加して開かれました。主催者を代表して投資信託協会の稲野和利会長が「金融商品の特徴や仕組みへの理解を深め、豊かで幸せな人生を築いてください」とあいさつした後、2氏が講演し、参加者は世界情勢が目まぐるしく変化する中で、日本の取るべき方向性やこれからの資産運用のポイントなどを学びました。



主催：(社)投資信託協会、北國新聞社、全国地方新聞社連合会
後援：金融庁、金融広報中央委員会、北陸財務局、大阪証券取引所信託協会、
全国銀行協会、東京証券取引所グループ、日本証券業協会、日本損害保険協会、
不動産証券化協会、共同通信社

豊かで幸せな人生を築くために

FPによる投資信託セミナー「一生使える！投資信託との付き合い方」野尻美江子氏(ファイナンシャルプランナー)

「お金の働いてもらう」の発想を

低成長の続く先進国では、労働収入の増加はあまり期待できず、将来的に税負担の増える可能性もあります。収入を増やすには、「お金の働いてもらう」の発想で、資産をうまく運用することが重要になってきます。投資信託もそのひとつで、投資家から集めたお金

を専門家が株式や債券などに投資し、その運用益を投資額に応じて分配するという金融商品です。近年では、オフィスビルや商業施設などの不動産で運用し、その賃貸料や売買益を分配するリートと呼ばれる商品も登場しています。いずれも少ない金額から購入でき、投資地域や投資

対象資産などバラエティーに富んでいるのが魅力です。一方、価格や為替、金利の変動と信用などの各リスクがあるため、元本は保証されません。リスクをうまく軽減しよう

は、投資の目的や期間、商品の安全性、収益性、換金性の中で重視する項目を明確にしておくことが大切です。そして、リスクを軽減するポイントとして、分散投資と長期保有、購入時期の分散があります。分散投資は資金を一つにまとめて投資しないこと、長期保有は変動リスクの縮

小に有効です。購入時期の分散では、毎月一定額を積み立てる方法があります。避けた方がいいのは、例えば虎の子の退職金をすべてつぎ込むようなやり方です。投資信託と長く付き合っていくためには、資金に余力を残しておくことがコツです。また、長期保有にするにしても、相場環境に応じたメンテナンスが欠かせません。個人投資家の強みは、資産運用には定年がなく、実際に相場と向き合ってきた経験がスキルとなつて身につく、次に生かせる点です。また、資産運用を通して現役世代とも共通の話題を持つことができ、はつらつとした人生を送る支えにもなつてくれます。



マネー誌や女性誌、新聞各種サイトの執筆や取材力などを活用し、自分のお金を働かせる方法を、投資信託をテーマにわかりやすく伝えるコラムや書籍、また、投資信託セミナーを開催し、幅広い層に投資信託の魅力を伝える。

リスクをうまく軽減しよう

分散投資は資金を一つに

まとめて投資しないこと、

長期保有は変動リスクの縮



リスクを小さくする方法をご存知ですか。
資産の分散 長期の保有 時間の分散
投資信託はあなたの資産運用のお役に立ちます。
資産運用は時間を味方につけましょう。

社団法人 投資信託協会

時間を味方に。これが私の資産運用。

投資信託 無料 ガイドブックプレゼント (各1冊セット)

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。(お届けまで2週間程度かかる場合があります。)

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1 東京証券取引所ビル6階 (社)投資信託協会HK係

※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。



www.toushin.or.jp

投資信託協会 検索

